

〒145-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

Tel. 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩

2013年
12月1日
第342号



http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

反リニア！反原発！労働規制緩和反対！

2013年度組合員セミナー開催

J R 東 海 労 は 11 月 23 日、東京目黒で2013年度組合員セミナーを開催しました。

今セミナーでの講演は、リニア新幹線沿線住民ネットワーク共同代表・天野捷一氏より「リニアは要らない！市民はなぜ立ち上がったか！」、原発はいらない福島の人たち・黒田節子氏より「福島の声を聞いて！現地はいま…！」の2つの課題について受けました。

天野代表は、「JR東



主催者挨拶を行う淵上委員長

海の経営陣は上から目線としか思えない。東海道新幹線の利益でリニアをつくるのだから、利用者の意見を聞くべき。山田社長の「リニアはペイしない」発言は、国費を使うサインではないかと思われる。「環境影響評価準備書」では、動植物が馴致(じゅんち)慣れること)するだろうと言われている。人間が慣れてはいけない。トンネル残土は5000万m³(諏訪湖の水量と同じ)以上、1千万台以上の工事車両

が走り、また立坑付近の住環境が悪化する。沿線住民にとって百害あって一利なしである。このような大事業の裏には不都合な真実が隠されているのではないか。今後も皆さんと共に闘っていく」と訴えました。

黒田氏は、「福島から避難したくても避難できない事情がある。異端視されるのではないかという思い、仲間と離れたくない思い、住宅ローンや仕事などの事情がある。避難民は16万人と言われているが、自主避難の人たちはその数字には入っていない。自主避難をしたくてもできない家庭が多い。子供たちのためにも各家庭の判断にまかせるべきではない。長崎大学山下教授は『事故後4年は小児甲状腺ガンが発生しない』と言うが、チェルノブイリでは事故の翌年に4倍に増えた。福島第一原発事故発生後9ヶ月までに作業員2万人のうち、半数が白血病の労働認定基準値を超え被災した。IAEA(国際原子力機関)が福島入りする予定だが、原発稼働目

的であり反対である。労働組合が脱原発運動の先頭に立つてほしい」と訴えました。

夜の懇親会では、前参議院議員平山誠氏が激励に駆けつけました。

翌日は、新幹線関西地本多田さんより、中国平和研修、御巣鷹山慰霊の取り組み、静岡地本渡辺書記長より地労委闘争の教訓について、それぞれ報告を受けました。

本部からは、木下副委員長が「労働者保護ルールの改悪を通じた安倍政権のめざすもの」と題した問題提起を行いました

希代の悪法!直ちに廃案! STOP! 秘密保護法11.21大集会



11月21日、東京・日比谷野音で「STOP! 秘密保護法11.21大集会」が開催されました。集会には、約1万人の労働組合、市民団体などが結集しました。当日は東京だ

けでなく、全国14ヶ所で特定秘密保護法案の廃案を目指す集会が開催されました。JR東海労は、JR総連の仲間と共に約300名で参加しました。

た。木下副委員長は、「かつて米国が日本に規制緩和と市場開放を求めていた内容が、現段階になって現れてきた。それがTPPであり、労働規制緩和である。正社員でも限定正社員に変えることができ、地域で仕事ができなればいつでも解雇ができるという法改正が現実的になってきている。悪法を通してはならない」と訴えました。

討論では、両日とも活発な意見交換を行い、セミナーは成功裡に修了しました。

参 院 山本太郎参議院議員が天皇陛下に手紙を渡した事に對し、マスコミ各社は一斉に非難を浴びせた。「政治利用、非常識行為、辞職もの…」など、言いたい放題だ▼しかし、山本議員が渡した手紙の内容に對しては、一切批判することは出来ない。なぜならば、手紙の内容が正義を貫いているからである。福島第一原発事故で、避難した人たちが、作業員の立場に立ち、マスコミが報道しない現実を明らかにしたものだ▼「それこそ、マスコミが原発事故の実態を報道したり、避難民のために東電や政府に言うべきことを言えば、わざわざ山本議員が苦勞することは無かったはずだ。筆者は山本議員の勇気ある行為に賛同する▼山本議員が天皇陛下に伝えたかった内容は、権力者にとつては都合が悪いと想像できる。権力者は臭いものに蓋をする体質になつているといえる▼作家・佐藤優氏は「山本議員の手紙事件への評価はネオファシズムの兆候だ」と述べた。核工場たる原発に反対する人は、権力者にとつては邪魔者だ。戦前、反軍演説を行った齊藤隆夫議員の除名は、まさに山本議員への評価と共通している▼私たちは、原発も戦争への道も許さず闘う。

スポーツの秋！ 各サークル行事開催

スポーツの秋、各種サークル行事が開催され、多くの組合員・家族が参加しました。



第18回登山大会

登山部は11月14～15日、岐阜県養老町で第18回登山大会を開催しました。初日は、養老温泉「ゆせんの里」に宿泊し、焼き肉宴会で懇親会を行いました。翌日は、残念ながら養老山登山は断念しましたが、養老の滝までトレッキングを行った後、元関ヶ原町議でOBの楠さんの案内で、関ヶ原古戦場、歴史民族資料館を見学し、西軍大将石田三成陣跡「笹尾山」に登りました。



竹本さん、前田さんと関西の仲間たち（大阪地裁前にて）

不当なボーナスカットを許さないぞ！ 大ニ運分会・竹本さん、前田さん労働審判に申し立て！

11月20日、大阪第二運輸所分会竹本真一さん、前田稔さんは、今年の夏季手当で5%カットされたのは不当だとして、減額の返還を求めて大阪地方裁判所に労働審判を申し立てました。新幹線関西地本は、2名を全力で支援していくために集会を開催しました。ボーナスカットの理由は、添乗時の注意や乗務報告書の記載漏れといった誰にでもあり得る事象です。2名は決意表明で、ボーナスカットのため「あら探し添乗」の実態を暴露し闘うことを明らかにしました。

第22回バレーボール大会 第22回テニス大会

バレーボール部とテニス部は11月20～21日、熱海市網代で第22回バレーボール大会及びテニス大会を合同で開催しました。初日は、開会式及び講演会を行いました。特別講演は、JR東労組浦和車掌区分会佐々木委員長より「えん罪JR浦和電車区事件の判決までの闘いの報告」を、本部高山



田城議員 「便り」

これまで何度かの廃案と取り下げが繰り返された「交通基本法」が、名前を変えて11月27日、参議院本会議で「交通政策基本法」が可決・成立しました。私は、前日の26日、参議院国土交通委員会「交通政策基本法」について質問しました。本来、交通基本法で定めるべきは、老若男女、障害をお持ちの方もそう



教宣部長より「リニア中央新幹線建設反対の闘い」について、それぞれ受けました。翌日は、バレー、テニス共に白熱したプレーが展開されました。

「リニアはペイできない(赤字だ)」 山田社長発言に対する申し入れ 会社は労使協議を拒否！

11月18日、本部が申し入れた『申第21号』の窓口回答で、会社は労使協議を拒否したため、本部は抗議しました。詳細は『業務速報』No.891を参照して下さい。

年末手当、不満ながら妥結 3.0ヶ月、12月10日準備出来次第

本部は、年末手当の回答に不服として再申し入れを行い、交渉に臨みましたが、新たな進展はないと判断し、11月18日15時妥結しました。詳細は、『業務速報』No.890及び見解を参照して下さい。

でない方も、地方に住もうが都市部に住もうが、必要に応じて人が移動し、そして物が輸送できる、そういう社会を確立するための法律であるべきです。その観点から、将来的に「移動権」を議論する余地を残すべきである、と主張しました。一方で、東日本大震災後の復興や復旧は遅々と進んでいません。同時に将来展望に不安を抱える地方ローカル線などを考慮し、総合的な交通政策を実現しなければなりません。これからはJR総連・JR東海労と連携を密にしながら、利用者のための総合交通政策の実現に向け奮闘していきます。さて、時を同じくして

「特定秘密保護法」が11月26日、衆議院を通過しました。衆議院段階での審議・採決の過程で、数にものをいわたった与党のやり方には怒りすら覚えます。そもそも、この「特定秘密保護法」は、全く必要のないものです。ご存じのように、多くの市民・有識者の皆さんが懸念される危険性をはらんだ法律案であることは間違いないです。この悪法がいよいよ参議院での議論が始まりました。いま、議員会館前では毎日抗議行動が続いています。私は、「特定秘密保護法」の廃案に向けて、皆さんと共に奮闘する所存です。共に頑張ります！